

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業			
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流			
	地域コミュニティ・集落再生	◎	環境			
	地域交通・情報通信		まちづくり			
ふりがな	よねだ まさこ					
氏名	米田 雅子					
所属	名称	国立大学法人 宇都宮大学				
	役職	理事				
連絡	住所 (職場)	〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-4 ワイヒルズ2階 米田事務所(秘書 中川 寛子)				
		e-mail	h.nakagawa[アットマーク]psats.or.jp			
	連絡先	TEL 03-5876-8461	FAX 03-5876-8463			
	連絡方法	E-Mailでお願いします				
略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 53 年 お茶の水女子大学 理学部数学科卒業 ・昭和 53 年 新日本製鐵株式会社入社 構造解析担当 ・昭和 61 年～平成元年 夫の赴任に伴い英国・米国滞在 ・平成7年4月～平成12年3月 東京大学建築学専攻松村研究室 研究生・研究員 ・平成 10 年 11 月より NPO 法人建築技術支援協会設立、理事就任 ・平成 18 年 4 月～19 年 3 月 東京工業大学 統合研究院 特任教授 ・平成 19 年1月～22 年 3 月 内閣府 規制改革会議委員 ・平成 19 年 4 月 慶應義塾大学 特任教授に就任 ・平成 19 年 6 月 建設業の新分野進出支援に関して内閣総理大臣表彰を受賞 ・平成 21 年 12 月～平成 22 年 5 月 内閣府 PFI推進委員会委員 ・平成 24 年 東京大学より博士(環境)を取得 ・平成 25 年 国産材マーク推進会設立・会長就任 ・平成 28 年 防災学術連携体(47学会)を設立、事務局長に就任 ・平成 28 年 日本学術会議会員に就任 ・平成 29 年 日本学術会議第三部幹事、土木工学・建築学委員長に就任 ・平成 30 年 日本学術会議防災減災学術連携委員長に就任 ・平成 30 年 防災学術連携体(56学会)代表幹事に就任 ・令和2年7月 農林水産省 農福連携ノウフクアワード審査員就任 ・令和2年 日本学術会議第3部副部長に就任 ・令和3年 東京工業大学環境・社会理工学院特任教授に就任 ・令和5年 宇都宮大学理事に就任 					

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

著作・論文等	「縦割りをこえて日本を元気に」、「大震災からの復旧—知られざる地域建設業の闘い」、「複業のすすめ—地域建設業の挑戦」、「日本は森林国家です」、「建設業からはじまる地域ビジネス」、「日本には建設業が必要です」他。新聞・雑誌掲載多数
取組概要	2007年～2010年に内閣府規制改革会議委員(地域活性化、農林水産業、あじさい・もみじ要望を担当)。補助金適化法の弾力運用、ボランティア有償運送の実現、農地法・酒税法・森林法改正に寄与。 構造改革特区評価・調査委員、PFI推進委員会委員、経産省の農商工連携88選委員長等を歴任。農商工連携、林建協働、平成検地の政策を提唱。 現在は、建設産業、建設業の複業化、防災、森林再生、地方公共政策など幅広い分野で、フィールドワークを重視した研究と支援活動を行い、大震災後の防災・減災政策にも取り組む。日本学術会議会員。阿蘇山上観光復興推進会議委員。建設トップランナー倶楽部代表。上閉伊地域(釜石、遠野、大槌)復興住宅協議会顧問。JAPIC(日本プロジェクト産業協議会)森林再生事業化委員会特別顧問。国産材マーク推進会特別顧問。防災学術連携体(日本学術会議と連携)代表幹事。
メッセージ	地域経済の活性化のためには、山、里、海の幸を活かした農林水産業の復活を忘れてはなりません。市場規模の小さな方が自立型産業を興すためには、企業が複数の本業をもつ「複業会社」、農商工の連携、林業と建設業の共働のように複数業種が協力して事業を行う「複業化」が重要です。地方の建設会社が新分野へ多角化することで生き残り、地域ビジネスを興しながら、同時に社会基盤を担うことも重要です。全国の事例をもとに地方を応援します。
関連ホームページ	.http://www.yoneda-masako.com/
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。